

## 水道水についての重要なお知らせ

キャンプ・フォスター（北谷浄水場より供給）におけるペルフルオロアルキル化合物およびポリフルオロアルキル化合物（PFAS）の検出結果について

(注) 本文書は仮訳であり、正式文書である英文が常に優先されます

海兵隊基地における軍人およびそのご家族、そして軍属および全ての従業員の皆様の健康と福祉を最大限に維持することが私たちの優先事項であります。米海兵隊キャンプ・バトラー施設技術部環境保全課（EAB）は、水道水の混入物質について定期的なモニタリングを全ての海兵隊キャンプにて行っています。2024年4月10日、米国環境保護局（EPA）は安全飲料水法（SDWA）における飲料水中の特定のPFASについて最終的な基準値を公表しました。これらの基準は、2025年9月28日に「米国外の国防総省の上水道システムにおけるペルフルオロアルキル化合物およびポリフルオロアルキル化合物のモニタリングと処理に関するポリシー（*Policy for Monitoring and Treatment of Per- and Polyfluoroalkyl Substances in Department of Defense Drinking Water Systems outside the United States*）」と題された国防総省の方針メモを通じて海外の施設に適用されました。この方針メモの基準は、国防総省のすべての公共および非公共上水道システム、および接受国の浄水施設から購入されるすべての水道水に適用されます。この国防総省の方針メモは、飲料水中の数種類のPFASに関し最大許容濃度（MCL）とトリガーレベル（しきい値）を設定し、初期モニタリングを2027年4月26日までに完了することを義務付け、定期的なモニタリングと通知の要件を確立し、すべての規制対象の飲料水供給者が2029年4月26日までに設定された基準値に準拠することを義務付けています。このお知らせの目的は、表1に示されたトリガーレベルを上回って検出されたすべての規定されたPFAS分析対象物質の分析結果を公表することです。

表 1: PFAS の最大許容濃度（MCL）およびトリガーレベル

PFAS名称	PFAS（略称）	最大許容濃度	トリガーレベル
Perfluorooctanoic acid ペルフルオロオクタン酸	PFOA	4.0 ppt	2.0 ppt
Perfluorooctanesulfonic acid ペルフルオロオクタンスルホン酸	PFOS	4.0 ppt	2.0 ppt
Perfluorohexanesulfonic acid ペルフルオロヘキサンスルホン酸	PFHxS	10 ppt	5 ppt
Hexafluoropropylene oxide dimer acid ヘキサフルオロプロピレンオキسدダイマー酸	HFPO-DA (GenX)	10 ppt	5 ppt
Perfluorononanoic acid ペルフルオロノナン酸	PFNA	10 ppt	5 ppt
Perfluorobutanesulfonic acid ペルフルオロブタンスルホン酸	PFBS	設定なし	設定なし
PFHxS, PFNA, HFPO-DA (GenX), およびPFBSの 2つ以上の混合物		ハザード指数 (HI) 1 (単位無し)	HI 0.5 (単位無し)

出典：米国外の国防総省の上水道システムにおけるペルフルオロアルキル化合物およびポリフルオロアルキル化合物のモニタリングと処理に関するポリシー（2025年9月28日）

サンプルはキャンプ・フォスター水道水システムの受水地点にて2025年11月12日に採水され、その結果は2025年12月4日に受領しました。これらの結果で報告されたPFASの濃度は下記の表2のとおりです。北谷浄水場は、キャンプ・フォスター、プラザ住宅地区、およびキャンプ・レスター北部住宅地区の住民および居住者に水道水を提供しています。

表 2: キャンプ・フォスターにおける PFAS の検出結果

PFAS名称	略称	検出結果 (ppt)	結果は最大許容濃度を上回っているか？	結果はトリガーレベルを上回っているか？
Perfluorooctanoic acid ペルフルオロオクタノ酸	PFOA	4.2	はい <sup>1</sup>	はい
Perfluorooctanesulfonic acid ペルフルオロオクタンスルホン酸	PFOS	6.4	はい <sup>1</sup>	はい
Perfluorohexanesulfonic acid ペルフルオロヘキサンスルホン酸	PFHxS	6.1	いいえ	はい
Hexafluoropropylene oxide dimer acid ヘキサフルオロプロピレンオキシドダイマー酸	HFPO-DA (GenX)	検出なし	いいえ	いいえ
Perfluorononanoic acid ペルフルオロノナン酸	PFNA	検出なし	いいえ	いいえ
Perfluorobutanesulfonic acid ペルフルオロブタンスルホン酸	PFBS	検出なし	いいえ	いいえ
PFHxS, PFNA, HFPO-DA (GenX), およびPFBSの2つ以上の混合物		HI 0.6	いいえ	はい
Perfluorobutanoic acid ペルフルオロブタン酸	PFBA	2.5	最大許容濃度・トリガーレベルの設定なし	
Perfluoroheptanoic acid ペルフルオロヘプタン酸	PFHpA	1.8	最大許容濃度・トリガーレベルの設定なし	
Perfluorohexanoic acid ペルフルオロヘキサン酸	PFHxA	4.1	最大許容濃度・トリガーレベルの設定なし	
Perfluoropentanoic acid ペルフルオロペンタン酸	PFPeA	3.0	最大許容濃度・トリガーレベルの設定なし	

1：結果は最大許容濃度を上回っていますが、海兵隊キャンプ・バトラーには、指定された最大許容濃度を遵守するために2029年4月26日までの猶予期間があります。

### ペルフルオロアルキル化合物およびポリフルオロアルキル化合物 (PFAS) とは何であり、どこから来るのか？

PFAS とは何千もの人工化学物質のグループで、世界中で何十年にも渡り様々な工業製品や商品として使用されてきました。PFAS の中広い用途と環境への残留性により、多くの人々が一定の PFAS に晒されています。これらはカーペット、衣料品、食品の紙包装、調理器具などで撥油剤や撥水剤としてコーティングや製品の製造に使用されてきました。また、これらは空港での石油系火災や産業火災の消火時に使用されるある種の水成膜泡消火薬剤 (AFFF) にも含まれています。

### この状況は何を意味するのか？

PFAS の毒性のメカニズムを理解するための研究は現在も進行中です。PFAS に関連した健康への影響リスクは、曝露要因 (摂取量、頻度、経路、期間) や個々の要因 (感受性、慢性疾患による重篤性)、およびその他の健康上の決定要因に依存します。疫学的証拠によると、特定の PFAS への曝露の増加とある種の健康への影響が示唆されています。PFAS 曝露による健康への影響に関する具体的な情報については、米国政府機関である ATSDR のウェブサイト (<https://www.atsdr.cdc.gov/pfas/>) をご覧下さい。

### 水道水中の PFAS に関する基準はありますか？

前述のとおり、2024年4月10日、米国環境保護局 (EPA) は安全飲料水法 (SDWA) における飲料水中の特定の PFAS について最終的な基準値を公表しました。これらの基準は、前述の国防総省の方針メモに基づき、2025年9月28日に海外の施設にも適用されることになりました。国防総省の方針メモは2029年4月26日までに設定された最大許容濃度 (MCL) に準拠することを義務付けています。

### **どんなことが行われているのでしょうか？**

海兵隊キャンプ・バトラー施設技術部環境保全課（EAB）は、国防総省の方針メモに基づき、北谷浄水場から供給されている水道水中のPFASについて定期的にモニタリングを継続し、必要であれば適切な措置を講じていきます。また、キャンプ・バトラーは海兵隊基地司令部およびジョイント・サービス・パートナー（他の在沖米軍など）と協力しながら可能な緩和策を模索していきます。さらに、モニタリングで検出されたPFASの結果はキャンプ・バトラー公式ウェブサイトおよび飲料水に関する消費者信頼報告書（CCR）（<https://www.mcipac.marines.mil/Resources/Environmental-Notices/#public-notice>）にも掲載していきます。

### **消費者として何ができますか？**

一般の人々に対し差し迫ったリスクはないため、何もする必要はありません。水道水をあらゆる目的に（飲料水、風呂、シャワー、料理、食器洗い、口腔内の衛生）使い続けることができます。

詳細は、EPA のウェブサイト（<http://www.epa.gov/pfas/pfas-explained>）をご覧くださいか、キャンプ・バトラー 施設技術部 環境保全課のウォーター・プログラム・マネージャー（[mcbb.gf.envwater@usmc.mil](mailto:mcbb.gf.envwater@usmc.mil)）にお問い合わせ、もしくは DSN 315-645-1425 までお電話ください。

このお知らせは、キャンプ・バトラー施設技術部環境保全課ウォーター・プログラムより送付されています。

送付日：2026年1月3日